

平成 25 年度 インクルーシブ教育システム構築モデル事業 成果報告書
【インクルーシブ教育システム構築モデル地域（スクールクラスター）】

教育委員会名	宮城県教育委員会
指定したモデル地域名	石巻市

概 要

地域内の全学校・園数（平成 25 年 5 月 1 日現在）

幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校	合計
14 園	39 校	24 校	9 校	0 校	1 校	73 校 14 園

【事業概要】

1. モデル地域の特色（特別支援教育に関する事項）

東日本大震災により、校舎を間借りしている学校や体育館の使用ができない学校が依然としてあるものの、地域には特別支援教育共同実習所があり、中学校の特別支援学級の生徒が週 2 回集まって作業学習の実習に取り組んでいる。また、小学生を対象とした交流学習会を学期 1 回企画し、交流を図っている。

昭和 40 年代に組織された、民間の特別支援学級後援団体が現在も存続しており、その団体の役員等が中心となって各種行事を開催するなど、特別支援学級の支援に当たっている。

2. 取組の概要

【教育委員会が行った取組や工夫】

県教育委員会、市教育委員会が事業組織の立ち上げ段階から関与し、円滑な運営ができるよう努めた。

事業の進捗状況については、事務局校が中心となって意見や情報の集約を行ってきたが、必要に応じて県や市教育委員会が支援し、速やかに課題解決が図れるような体制を構築した。

【モデル地域内における取組】

個々の児童生徒が生活上あるいは教育上必要とする特別な支援の在り方について、「合理的配慮」の提供という視点から整理、蓄積し、一人一人のニーズに直結した「合理的配慮」の在り方について検討した。

これまでの「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の様式についても統一し、途切れのない一貫した支援を目指して、特に小・中学校との連携を強化した。今回のモデル事業の取組を地域全体に広げることによって、研修等の機会を通じて、広く市内の学校にも情報発信し、それぞれの学校でも実践していただけるよう、成果普及に努めた。

- ・ 職場体験や校外学習等の際の様子を携帯型タブレット端末等で撮影し、学習の振り返りのみならず、授業改善及び年間計画の見直しのために活用した。
- ・ 外部専門家等の地域の人的な教育資源をデータベース化することによって、児童生徒等の教育的ニーズに応えるためのノウハウがある方々と一緒になって、連携した支援が実施できるように工夫した。

3. 成果及び課題

(1) 成果

- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮について検討する機会を設けたことで、各校における特別支援教育コーディネーターの意識が高まり、教員の専門性や対応力の向上につなげることができた。
- ② 個別の教育支援計画等の様式を統一化するだけでなく、実際に教員が記入してみても、それによって見つかった新たな課題等を持ち寄って、さらに検討・改良することで、小・中学校を通して使用できるものができた。効果的に活用できるようになった。
- ③ 震災によって途絶えていた特別支援学級の交流学習会が復活し、平成 25 年度は 1 回開催することができた。交流学習会は、障害のある児童生徒のみならず、障害のない児童生徒にとっても、社会性や人間性を育てる上でも極めて有効であるため、次年度以降の活動にもつなげていきたい。
- ④ 児童生徒が必要とする支援が多様化しており、学校だけでは対応できない場合も少なくない。そのため、地域の教育的資源や人的ネットワークをデータベース化できたことによって、指導や助言が必要な場合に相談できる場所が明確になり、その情報を市内で共有することができた。

(2) 課題

- ① 合理的配慮の検討を行った際、各校が様々な障害の事例を持ち寄ったが、内容が多岐に渡りすぎてしまうことがあった。平成 26 年度に事例検討会を行う際には、障害種ごとに整理しながら検討するなど、工夫が必要であると感じた。

- ② 地域で活用する個別の教育支援計画の様式を統一することによって、効果的な小中連携を目指しているが、しっかり学校現場で活用されているか、あるいは移行時に連携できているかを検証していく必要がある。
- ③ 情報端末については、それぞれの学級での使用にとどまってしまうがちなので、効果的な活用例のみならず、ＩＣＴ機器等を活用しての情報の入手や表現等により、児童生徒がどのように変化していったのかなどを各校で共有する仕組みづくりが必要である。
- ④ 地域の特別支援学級後援団体からの専門家派遣を依頼していたが、学校の都合とボランティアの都合が合わないケースも少なくなかった。後援団体は地域に 13 団体あるため、各事務局との連携体制を強化し、必要な指導や助言を必要ときに受けられるような仕組みづくりを検討したい。